

# 2022年9月期 第2四半期 機関投資家説明会資料

2022年6月16日



**アイビーシー株式会社**

証券コード 3920



## — AGENDA

**1** 第 20 期 第 2 四半期 連結決算概要

**2** 第 20 期 トピック

**3** 第 20 期 業績予想修正

◆ Appendix





1

第 20 期

第 2 四半期 連結決算概要

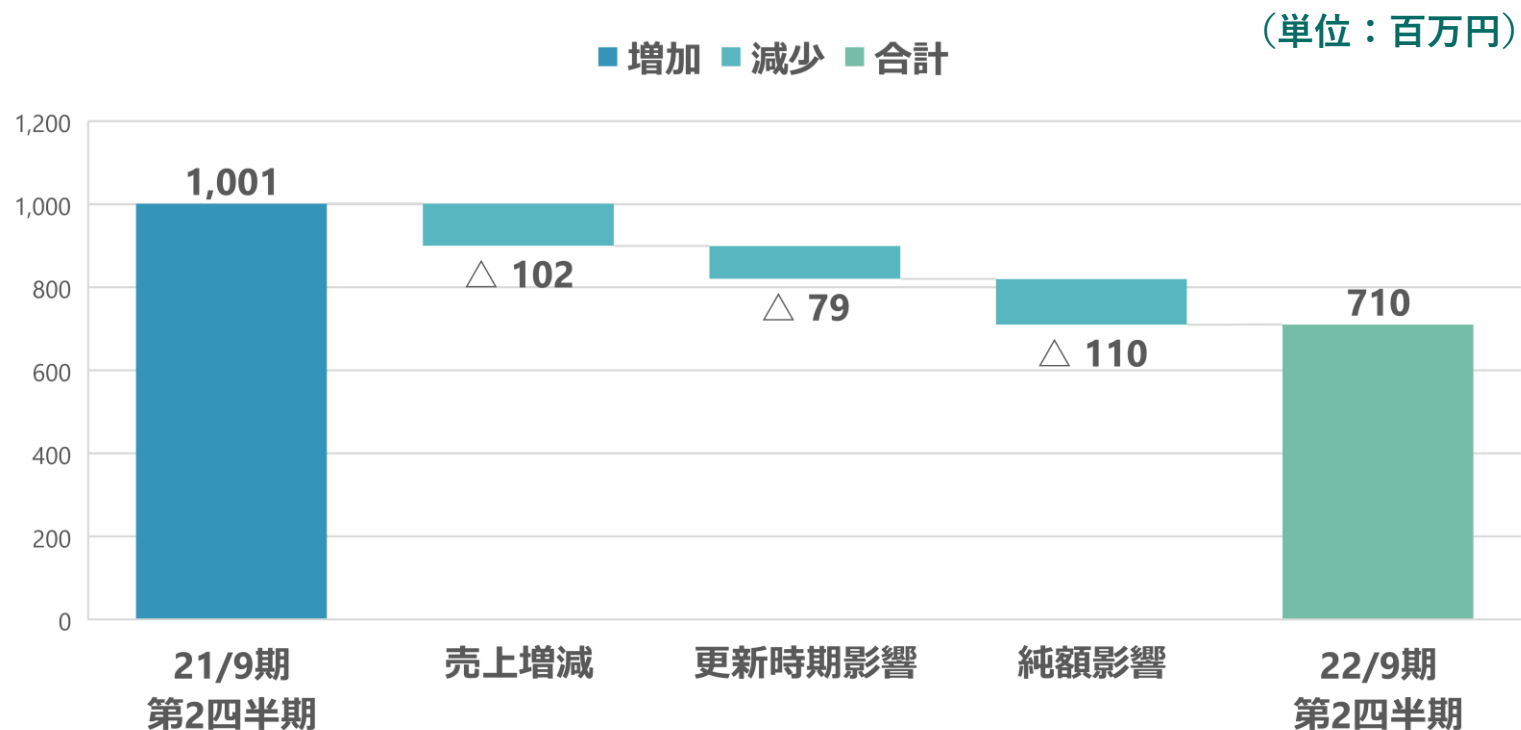
## ◆ 第 20 期 第 2 四半期 連結決算概要

(単位：百万円)

	21/9期第2四半期 連結累計期間	22/9期第2四半期 連結累計期間	前年同期比	22/9期 連結修正予想	進捗率
売上高	1,001	<b>710</b>	△29.1%	1,500	47.3%
売上総利益	594	<b>466</b>	△21.5%	—	—
販売管理費	468	<b>499</b>	+6.7%	—	—
営業利益	126	<b>△33</b>	—	△83	—
(利益率)	(12.6%)	(△4.7%)	—	(△5.5%)	—
経常利益	121	<b>△17</b>	—	△73	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	82	<b>△11</b>	—	△53	—

- まん延防止期間の延長等により、システム運用部門へのアプローチが想定以上に滞ったため当初想定していた売上高を下回る厳しい結果となり減収。

# ◆ 収益認識に関する会計基準の適用影響について



※代理人取引に関する収益認識

【旧基準】 販売対価の総額(A)計上



【新基準】 販売対価の純額(A-B)計上



## ■ ライセンス更新に係る売上計上時期

ライセンス期限満了に係る更新の場合、更新後のライセンス有効期間開始月より収益認識（更新分△79百万円（翌月計上））（更新時における拡販等は考慮せず）

## ■ 本人・代理人の区分

他社商品販売の大半の取引について、当社の役割が会計基準上の「代理人」に該当するため、純額を売上計上（△110百万円）

## ◆ 第 20 期 第 2 四半期 売上内訳 (単体)

(単位：百万円)

	21/9第2四半期	22/9第2四半期	前年同期比
ライセンスの販売	396	250	△36.9%
サービスの提供	248	251	+1.4%
その他物販等	289	147	△49.2%
合 計	936	648	△30.7%

全体で実質減収(前項ご参照)、新規獲得の減少によるライセンス減の一方、サービスは堅調

### ■ ライセンスの販売

ライセンス継続案件の売上計上時期が期限翌月に変更になった影響に加え、まん延防止期間の延長等により、システム運用部門へのアプローチが想定以上に滞ったため新規獲得が想定を下回り36.9%減。

### ■ サービスの提供

各種導入作業等の売上が堅調により1.4%増。

### ■ その他物販等

新会計基準導入による純額計上の影響や前年同期における文教・公共セクターに対する大口販売との差額もあり49.2%減。

## ◆ 第20期第2四半期末 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	21/9期末連結	22/9期第2四半期末 連結	前期末差額
流動資産	2,485	2,128	△357
（内、現金及び預金）	1,305	1,237	△67
固定資産	774	985	+211
資産合計	3,260	3,113	△146
流動負債	1,228	1,120	△107
固定負債	280	221	△58
負債合計	1,508	1,342	△166
株主資本	1,741	1,730	△10
その他	9	40	+30
純資産合計	1,751	1,771	+20
負債純資産合計	3,260	3,113	△146

■単年度契約の増加に伴い売掛金が300百万円減少の一方、投資有価証券が171百万円増加。

■手元流動性確保のため短期借入金が増加した一方、法人税支払（未払法人税102百万円減少）及び物販売上に係る仕入れの減少に伴い買掛金減少（52百万円）により負債減。





# 2

## 第 20 期 トピック



## ◆ 第 20 期 トピック

年月日	イベント
2021/10/ 1	ミッション、ビジョンの策定
2021/10/21	System Answer G3 Ver03.23-01リリース（不具合修正）
2021/11/17	新市場区分：スタンダード市場を選択
2021/11/30	IIJ グローバルソリューションズと協業 IoT機器類の信頼性を高めるソリューション「IoT トラストサービス」を提供開始
2021/12/16	取締役会（社外より 2 名の就任、計 7 名（うち社外取締役 4 名））および監査役会（監査役 1 名減（取締役へ就任）、計 3 名（うち社外監査役 2 名））における新体制発足
2022/1/12	System Answer G3 Ver03.24-00リリース（変動検知オプション追加）
2022/5/10	System Answer G3 Ver03.25-00リリース（Flowmonと連携しフロー解析）
2022/5/10	「System Answer G3」と「Flowmon」のAPI連携を提供開始⇒P11

## ◆ 第 20 期 トピック (続)

年月日	イベント
2022/5/13	米国特許取得：IoTデバイスプロビジョニングシステム⇒P12
2022/5/16	「Interop Tokyo 2022」 出展ならびに「Interop Tokyo 2022 ShowNet」 参加のお知らせ⇒P13
2022/5/31	Integration ビジネスを本格的に開始～ITインフラを中心にNI/CIを提供⇒P14
2022/5/31	System Answer G3 Ver03.25-01リリース

## ◆ 「System Answer G3」と「Flowmon」のAPI連携を提供開始

システムの「性能分析」と「フロー解析」の一元管理を実現  
～「System Answer G3」と「Flowmon」がAPI連携～

IBCが開発・販売するシステム情報管理ソフトウェア「System Answer G3」とオリゾンシステムズ株式会社が提供するネットワークフロー解析ツール「Flowmon」のAPI連携を2022年5月10日より提供開始しました。

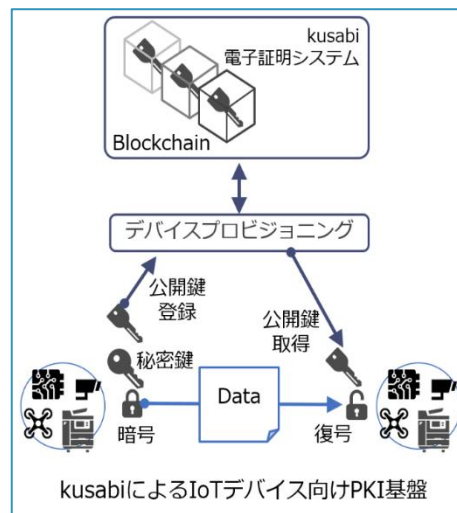
### API連携による効果

システムの「性能分析」と「フロー解析」の一元管理を実現することで、トラブルに強い運用体制を構築でき、運用コストの削減が望めます。さらに、トラブルの原因を先回りして対処しておくことで、将来的に障害をおこさないインフラ体制を目指すことができます。

# ◆ 米国特許取得：IoTデバイスプロビジョニングシステム

～IoTデバイスからパスワードを撤廃するOTAをソフトウェアで実現～

IoTセキュリティ基盤サービス「kusabi」のブロックチェーン技術を利用した「電子証明システム」の米国特許取得（2021年9月）に続き、今回新たにIoTデバイスからパスワードを撤廃するOTAをソフトウェアで実現する「IoTデバイスプロビジョニングシステム」でも米国特許を取得しました。



<デバイスプロビジョニングシステム 米国PATENT NO.11296934の概要>  
IoTデバイス専用の公開鍵と秘密鍵を生成すること、およびホワイトリスト方式によるアプリケーション検査を行うことで、堅牢なセキュリティによるデバイス管理を実現する仕組みです。プロビジョニングサーバー主導で、デバイスの登録、公開鍵の格納、電子認証に紐づく秘密鍵を配布し、デバイスの適用から運用フェーズの自動化を実現します。

## ◆ 「Interop Tokyo 2022」 出展ならびに 「Interop Tokyo 2022 ShowNet」 参加のお知らせ

当社は2022年6月15日(水)～6月17日(金)に幕張メッセで開催される Interop Tokyo 2022 に出展します。

### < ShowNet 参加 について >

Interop Tokyoの基盤となる ShowNet は、さまざまな機器が集まり、相互接続を実現する、最新技術を用いた世界最大級のライブデモンストレーションの場です。

アイビーシーは今年もコントリビューターとして ShowNet へ各種ソリューションを提供いたします。

System Answer G3 を活用した監視ソリューションを提供し、 ShowNet 環境の安定稼働、予兆検知を実現することで、Interop Tokyo の基盤をサポートいたします。

## ◆ Integrationビジネスを本格的に開始

～ITインフラを中心にNI/CIを提供～

当社は、働き方改革によるワークスタイルの変化やゼロトラストなどによる企業ITインフラの変化を支援するために、2022年5月26日よりITインフラを中心にNI（Network Integration） / CI（Cloud Integration）サービスを本格的に提供開始します。



すべて  IBC にお任せください！

「IBC-Integration」は、IBCが20年間に渡り蓄積したインフラ環境の分析・解析ノウハウをもとに、小規模から大規模まで、高信頼・高可用なネットワークおよびクラウドを設計・構築するサービスです。お客様のお悩みに寄り添い、システムの構築から“攻めのIT”提案まで、幅広くご支援します。パートナー企業との連携により、ネットワーク構築に特化した200名を超える専門部隊を編成し、さまざまな規模の案件に対応できる体制を整備しています。ネットワークインフラ、サーバーインフラの新規導入の際に必要な作業を一気通貫でご支援します。



# 3

## 第 20 期 業績予想修正



### 3 第20期 通期連結修正予想

(単位：百万円)

	21/9期 連結期間	22/9期 連結期間	前年同期比
売上高	2,013	1,500	△25.5%
営業利益 (利益率)	280 (13.9%)	△83 (△5.5%)	—
経常利益 (利益率)	273 (13.6%)	△73 (△4.9%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 (利益率)	197 (9.8%)	△53 (△3.5%)	—
配当	—	4.0円	+4.0円

- 売上については、世界的な半導体不足によるサーバーやネットワーク機器の納期遅延の影響や顧客のシステム運用関連に対する投資抑制等を踏まえ、サーバーやネットワーク機器等の販売をより厳しく見積もり、下期で対前年同期比約2億円引き下げ
- 中長期的な成長に備え、実施済の給与水準引き上げや当社主力製品機能強化等に係る投資に加え、デジタルマーケティングや業務プロセスに係る抜本的見直しを行うための費用等として約1億円弱を積み増し



## **Appendix**



MISSION

IT障害をゼロにする



VISION

IT活用で永続的に成長し、  
事業・社会へ貢献する

# ◆ 社会課題と IBC の役割

## 社会課題



COVID-19



働き方改革



ダイバーシティ



温暖化対策



セキュリティ脅威の拡大

### ◆ IT システム障害による社会的影響

2020 10月 東京証券取引所 システム障害  
年

12月 SolarWinds 社 セキュリティ問題  
(同社製品へのマルウェア混入)

2021 7月 日本製粉へのサイバー攻撃による  
年 システム障害

8月 みずほ銀行大規模システム障害

10月 NTT ドコモ 通信障害

## IBC ができること

MISSION

IT 障害をゼロにする

VISION

IT 活用で永続的に成長し、  
事業・社会へ貢献する



System Answer<sup>®</sup> シリーズ

IT 障害の検知と予防に注力した商品開発

SAMS

創業より培った運用・分析ノウハウで  
カスタマーサクセスに貢献



kusabi

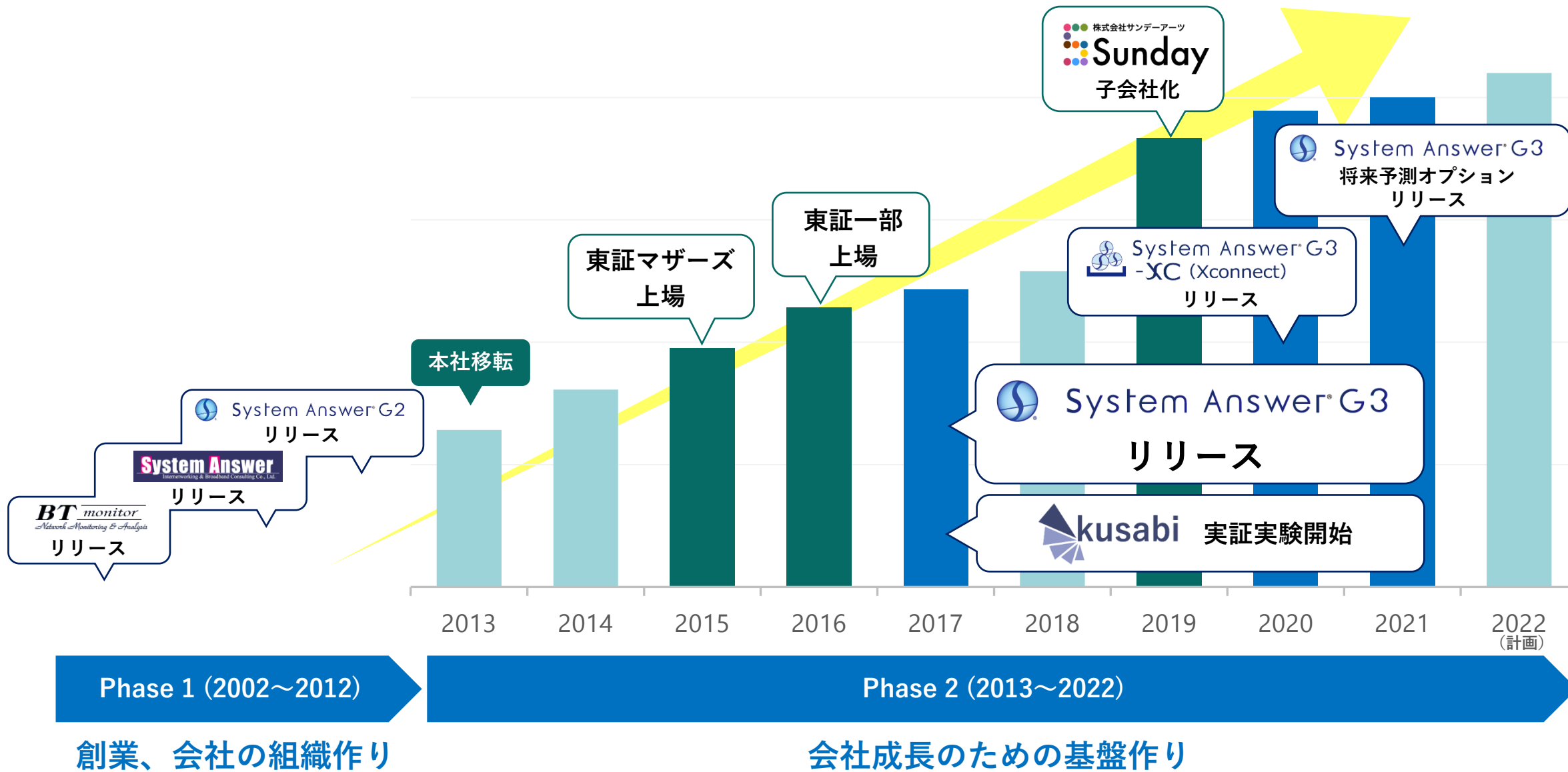
動き出す IoT セキュリティ強化に向けて  
電子証明技術の提供

## ◆ 会社概要

社名	アイビーシー株式会社（銘柄コード 3920）
代表者	代表取締役社長 加藤 裕之
設立	2002年10月16日
資本金	443,230千円（2022年3月31日現在）
市場	東証スタンダード
所在地	東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル
従業員	89名（連結）
事業内容	ITシステム性能監視ツールの開発 / 販売 / サポート ITシステムの性能評価サービス ITシステムの設計・構築、コンサルティング IoTセキュリティ基盤の開発 / 提供 各種機器、ソフト販売



# ◆ IBC の沿革



## ◆ IBC グループ



(100%子会社)



(持分法適用関連会社)



## ◆ 株式会社サンデーアーツ（100%子会社）



2019年4月に簡易株式交換により完全子会社化  
最先テクノロジーによるシステム開発を行っている

ブロックチェーン開発事業

AI開発事業

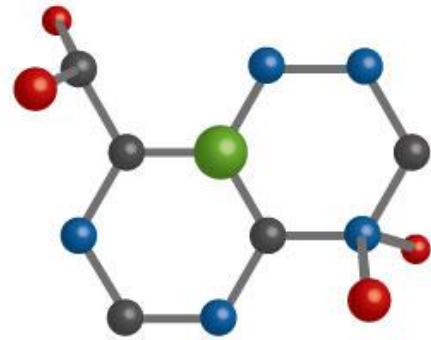
RPA開発事業

ソフトウェア開発事業

システムエンジニアリング  
サービス（SES）事業

パッケージソフトウェア  
開発、販売事業

## ◆ 株式会社 NSD 先端技術研究所（持分法適用関連会社）



**NSD**  
先端技術研究所

AI、IoT等の先端技術を活用した研究開発・サービスを創出

### （出資先概要）

- 設立 2019年4月1日
- 代表者 黄川田 英隆
- 資本金 資本金100百万円
- 親会社 株式会社NSD本社（代表取締役社長 今城 義和、東証1部）
- 2019年4月25日出資
- 議決権所有割合（20%）の持分法適用関連会社 非常勤役員1名派遣

# ◆ 免責事項および将来見通しに関する注意事項 およびお問い合わせ窓口

## 【免責事項および将来見通しに関する注意事項】

本資料は、当社の財務情報、経営情報等の提供を目的としており、内容についていかなる保証を行うものではありません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関わる情報および当社以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性および適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。本資料に記載しております見通し、予想数値等の将来に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

今後の業績等は、事業運営、経済情勢その他の様々な要因によって予想と異なる可能性がありますので予めご承知おきください。

## お問い合わせ窓口

### アイビーシー株式会社

【本社】

〒104-0033

東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル 8F

TEL : 03-5117-2780 FAX : 03-5117-2781

【西日本事業所】

〒532-0004

大阪府大阪市淀川区西宮原2-7-38 新大阪西浦ビル 3F

TEL : 06-7653-1014 FAX : 050-3473-4160

〈URL〉

コーポレートサイト → <https://www.abc21.co.jp/>

ソリューションサイト → <https://system-answer.com/>



## ■本資料に関するお問い合わせ

アイビーシー株式会社 コーポレートサービス統括部

TEL:03-5117-2780

<https://www.abc21.co.jp/contact/ir/>